



大阪年金者組合

聞こえのバリアフリーを!

# 補聴器助成推進ニュース

大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館6階  
TEL06-6354-7207 FAX06-6354-7746

2024.4.1 13号



# 東大阪市

65歳以上の非課税世帯・上限50,000円・100世帯



2024年度

# 補聴器購入補助モデル実施

中央本部の全国調査です。ご協力をお願いします

2024年3月26日

支部代表者 様

全日本年金者組合大阪府本部  
(書記局)  
Tel.06-6354-7207  
fax06-6354-7746  
e-mail [info@o-nenkin.com](mailto:info@o-nenkin.com)

連日ご苦労さまです。

中央本部から、議会での意見書採択を目指す取り組み報告の要請がきております。議会に向けて各市町村に対する「物価上昇を上回る年金額引き上げを」「補聴器助成」「保険証の存続」などの請願・陳情の取り組みについて次のとおり報告をお願いします。報告は3月31日(日)までにお願いします。

報告の形式は問いません。本部あてメールでもFAXでも構いません。

記

1. 「物価上昇を上回る年金額引き上げを」「補聴器助成」「保険証の存続」などの請願・陳情の取り組み状況と結果について報告をお願いします。

例) 補聴器助成の請願、陳情を実施した。

補聴器助成未実施の市町村で、新たに新年度予算案で補聴器助成が予算化された。

例) 「物価上昇を上回る年金額引き上げを」の請願・陳情で議会で採択された。

2. 今後の取り組み

東大阪市議会は3月26日の本会議で、維新の野田市長が提案した24年度予算案が否決され、公明、自民党などが提出した修正案を維新以外の全会派賛成で可決されました。年金者組合東大阪支部が要望していた補聴器購入補助事業は予算化されました。補助内容は、助成の上限は5万円、65歳以上の市民税非課税世帯が対象です。24年度単年度のモデル事業で予算は100世帯、実施は秋以降を予定しており、次年度以降は24年度の効果を見てのモデル事業実施です。東大阪支部は、22年9月議会に市独自の補助制度を請願し、自民、公明、維新の会派が反対し継続審議扱いになり、再度23年9月議会に請願を提出し公明党が賛成に回り請願が採択されました。

2022年9月の請願書提出から1年半。24年3月の本会議で「モデル実施」という形ですがとりあえず実施に一歩近づきました。この間、市民から「早期に制度創設を」署名を集め、毎月15日には市内の主要な駅頭での宣伝などをとりくみできました。「モデル実施」から本格実施、さらに制度の内容の改善、充実に向けてとりくみを強めていきます。 東大阪支部委員長/西岡健二



大阪市・堺市内支部と提出済み支部以外は必ず連絡下さい